

の中州にある低山「舟山」

誌に義元を紹介する漫画を1年間連載する予定。小中学生にも関心を持ってもらえるよう、義元をモチーフにしたゆるキャラ「今川さん」を登場させ、義元の生涯を分かりやすく解説する。今月号から連載を始め、連載終了後は単行本化も予定しているという。

同委員会内では五百年祭のハイライトとしてシンボルとなるような義元像を制作することも検討されており、32年5月をめどに完成させる案が浮上している。



悠々と泳ぐ こいのぼり

「沼津こいのぼりフェスティバル」が5月4、5日に開催されるのを前に、約350匹のこいのぼりが22日、会場となる沼津市の狩野川緑地に設置された。こいのぼりの数は昨年より50匹ほど多く、市特産のアジの干物をモチーフにした全長2.5メートルの「ひものぼり」なども展示され、子供たちの人気を集めていた。ひものぼりの展示は5年連続。今

年は新たに全長1.5メートルの「ミニひものぼり」も登場し、水平に張られたひもに天日干しされた干物のような姿で20匹がつり下げられた。ひものぼりを製作した同市のホームページ制作会社「オフィスグルー」の窪野岳社長(47)は「ひものぼりが話題になって、沼津の干物屋が元気になってくれたらうれしい」と話していた。フェスティバルではステージイベントのほか、こいのぼりの生地でリメイクした衣装の貸し出しなども行われる。



上「沼津こいのぼりフェスティバル」の会場に設置されたこいのぼり
下「ミニひものぼり」に飛びつく子供たち
—いずれも22日、沼津市市場町
(石原颯撮影)